

「ヤギと男と男と壁と」

☆☆☆

2010（平成22）年6月28日鑑

賞＜GAGA試写室＞

監督： Grant・ヘスロヴ

原案： ジョン・ロンスン『実録・アメリカ超能力部隊』村上和久訳（文春文庫刊）

リン・キャシディ（超能力部隊“新地球軍”ナンバー2）／ジョージ・クルーニー

ビル・ジャンゴ（陸軍小隊長、超能力部隊“新地球軍”ナンバー1）／ジェフ・ブリッジス

ボブ・ウィルトン（ミシガン州の地方紙の記者）／ユアン・マクレガー

ラリー・フーパー（超能力部隊“新地球軍”隊員）／ケヴィン・スペイシー

2009年・アメリカ、イギリス映画・94分

配給／日活

＜こりゃホントそれともウソ？真剣それともおふざけ？＞

オバマ大統領はイラクからのアメリカ軍の早期撤退を公約に掲げて大統領に就任したが、早期撤退を可能にしたのは誰のおかげ？本作によれば、それは米軍が密かに養成していた超能力者集団からなる極秘部隊、新地球軍のおかげらしい。

超能力といえば、かつてはスプーン曲げのユリゲラーが一世を風靡したが、多分このような超能力者は世の中にゴロゴロいるのだろう（？）から、念動力や透視能力、そして予知能力など多種多様な超能力を持つ兵士を集めれば、何だって可能！

＜まずは3人のキャラに注目！＞

ミシガン州の地方紙記者であるボブ・ウィルトン（ユアン・マクレガー）は、一見セールスマン風の男リン・キャシディ（ジョージ・クルーニー）が、そんな超能力者による超能力部隊＝新地球軍の設立メンバーだったことを知ってびっくり。リンの話によれば、ベトナム戦争で啓示を受けて帰還した陸軍小隊長ビル・ジャンゴ（ジェフ・ブリッジス）が発表したレポート「新地球軍マニュアル」にもとづき、1980年に新地球軍が設立されたいらしい。

『スターウォーズ』シリーズのジェダイ・マスター、オビ=ワン・ケノービよろしく、ジェダイ戦士を名乗る彼らの必殺技は、ヤギを殺す「キラキラ眼力」や壁を通り抜ける念動力など多種多様。しかし、それってホント？それともウソ？そもそも、本作は真剣？それともおふざけ？

＜新地球軍内にも権力闘争が・・・＞

本作にはこの面白い企画に賛成した4大俳優が共演しているが、新地球軍内でもやはり権力闘争は不可避らしい。透視能力の腕を上げてビルに次ぐナンバー2のエスパーになったリンに嫉妬したのが、ケヴィン・スペイシー扮するラリー・フーパー。ラリーの画策によってビルは追放され、リンもキラキラ眼力によってヤギを殺したという伝説を残して新地球軍を去ることに。

リンが語るそんな話にボブが興味を示し、さらには戦争が始まったばかりのイラクでの危険な取材を志願したのは、愛する妻が編集長と浮気していることを知ったショックから。しかしそのおかげで、ウソみたいなホントの物語かホントみたいなウソの物語かは知らないが、こんな面白い話を聞きかつ体験することができ、本作の原案となった『実録・アメリカ超能力部隊』を書くことが出来たのだからボブはラッキー。超能力のオンパレードだけなら単なるびっくりショーだが、イラク戦争における米軍の早期撤退という大きな目標の存在と新地球軍内の権力闘争という味付けが絶妙。単なるアホバカバラエティーではないから、バカバカしいと思いつつ思わず引き込まれていくことまちがいなし！

＜自衛隊への応用は？＞

韓国の軍民合同調査団によれば、2010年3月26日に起きた韓国海軍哨戒艦「天安」の沈没は、北朝鮮の魚雷攻撃によるものだと結論されたが、ロシアはこれを否定。国連安全保障理事会における決議の行方は予断を許さない状況となっている。こんな緊迫した情勢の中、北朝鮮は9月に労働党代表者会の開催を決定。これはいよいよ金正日から、三男・金正雲への権力委譲が近づいていること示すもの？そんな中、北朝鮮軍の補強は？そして韓国のそれに対する対応は？

北朝鮮の秘密工作員の戦闘能力の高さは『シュリ』（99年）を見れば明らか。それに対抗するためには、ベトナム戦争のさなかの1972年、小隊を率いていたリンが「優しさは強さ」と啓示を受けたことに始まったニューエイジ思想とそれを具現化した新地球軍マニュアルの研究が有効？壁抜けやキラキラ眼力は一見インチキ風だが、その思想の根源は観察力を養い、直感を磨くことによってどんな状況下でも即座に正しい判断を下す訓練だから、さしずめ日本の忍者道にも通じるもの？そう考えると、本作は真面目な戦術研究の素材としてこりゃ日本の自衛隊にも応用が可能・・・？

2010（平

成22）年6月29日記